令和７年度　学校評価報告書

１　教育目標

（１）　基本的な生活習慣を身につけ、健康な生活を送るための心と体の基礎をつくる。
（２）　たしかな学力と豊かな教養を身につけ、ゆるやかな協働性の中で自律して学び続け、それぞれの目標達成に向けて意欲的に取り組む姿勢を養う。
（３）　ものづくりを通して技術・技能の基礎・基本を習得し、多様な人と学び合い、夢中で探究し、課題解決に向けて自ら学び続ける態度を身につける。
（４）　ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事を通じて、自他を尊重し、協働によって粘り強く対話する力を育てる。

２　本年度の努力点

学校教育の努力点	特に大切にしたい要素					
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
基礎的・基本的な知識・技能を習得するための学習やより高度な内容の学習、実用的な資格取得のための学習に、自分に合ったペースや方法で学び、多様な人と学び合い、夢中で探究する姿勢の育成に努める。			○			○

３　評価結果の概要

対象	項　　目	具体的方策	評価結果と課題、次年度への改善策等
生徒指導	○　基本的な生活習慣の確立 ○　自他の生命や存在を尊重する態度の育成	○　生徒個々の課題の把握と共有による適切な支援の検討 ○　協働的に進める生徒主体の学習活動	○　生徒が抱える課題への適切な支援の具体についてサポート委員会や学級担任を中心に検討と支援を行った。学校生活アンケートからは多くの生徒が前向きに学校生活を送ることができており、学校における心理的安全性を維持できている。 ○　ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事等を生徒主体の活動として進めるとともに、他者との関わりを通じた協働的な学びの機会を設定することで、自尊感情の醸成や他者の存在を尊重する態度を育成することができた。
学習指導	○　基礎的・基本的な学習内容の定着 ○　基本的な技術・技能を身につけた工業人の育成	○　学校設定科目「生活教養」、及び「工業情報数理」において習熟度別指導を実施 ○　きめ細やかな指導を行うために少人数の班編成による実習指導を実施	○　第１学年において３班編制の習熟度別によるきめ細やかな指導を行うことで、前向きに学びに向かう姿勢を醸成することができた。中学校までの学習内容の学び直しやつまずきやすい学習内容について重点的に指導を行うことで、基礎学力の定着を図ることができた。 ○　少人数の班編成により安全に実習活動を進めるとともに、自分に合ったペースや方法により自ら進んで学びを進める生徒の育成ができた。役割分担による多様な人との学び合いを通じて、協働的に学びを深める生徒の育成ができた。製作物をデイサービスセンターに寄贈するなど、ものづくりを通じた社会貢献により生徒の自己有用感を醸成することができた。
進路指導	○　希望進路実現に向けての指導 ○　確実な進路指導	○　各学年において必要となるキャリア支援の整理と充実 ○　外部団体の活用によるキャリア支援	○　「キャリアタイム」ではキャリアナビゲータや外部団体の専門家を講師として、１～３年生を対象に労働に関する講話と給与明細の見方等を、学年別で自己理解講座、適性検査の解説講座を実施した。４年生には進路指導主事やキャリアナビゲータを中心に個人面談を行うなど、希望進路実現への個別支援を行った。 ○　支援を必要とする生徒を子ども・若者総合相談センターやリンクサポートなどの外部団体と接続することで、個別最適なキャリア支援を行うことができた。

４　アンケート等実施状況及び評価結果の公表について

アンケート	5月　生徒生活実態調査実施 7月　学校生活に関するアンケート① 12月　学校生活に関するアンケート② 2月　学校評価アンケート 3月　学校生活に関するアンケート③	結果公表	6月　ＰＴＡ総会において報告 11月　なごやコミュニティスクール会議において報告 2月　名古屋市立高等学校定時制教育振興会実態調査委員会で定時制の生徒調査の分析結果を報告 2～3月　校務分掌自己評価 3月　ホームページに評価報告書を掲載